

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	おおすみ児童発達支援センター 第2放課後等サービス		
○保護者評価実施期間	令和8年1月13日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14家族	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	令和8年1月13日		～ 令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	全利用者が特別支援学校の子供たちなので、同じ時間にみんなが帰ってくるため、同じ時間に着替えやおやつ・集団活動・個別活動が実施できる。	おやつ後に、みんなで出来る集団活動を取り入れることで、みんなで一緒に活動に参加でき、チームワークの良さやみんなで助け合う心や行動を学ぶことができる。	子どもたちが飽きの来ない様に、色々なゲームやレクリエーションなどを取り入れ、集団活動を楽しみにして来れるように工夫していきたい。 子供たちが成長できるように子供たちが主体になって活動が出来るようにしていく。
2	個別活動では、自分たちがしたい事を中心にして、活動を行うことができる。子供たちが自分たちで考える力を育てていく。	職員が活動を決めるのではなく、自分でしたい事を自分たちで決める為、それに対して必要な物を伝える力が身についている。 同じ活動を繰り返して行うが、そうすることで、その子なりの成長を感じることができる。(徐々に形になって行ったり、何を作ったのか分かるようになる)	子どもたちの想像力をもっと育てていく。 もっと色々な活動が行えるように、必要な道具をそろえて、自分で何がしたいかをしっかり決めることができるようにしていく。 自分の好きな事や得意な事だけに取り組むことが多いので、その中で、苦手な事にも挑戦できるようにしていく。
3	同じ法人に、放課後等サービス・児童発達支援・保育園・学童・就労支援事業所・高齢者施設がある為、何かある時は交流を持ったり、一緒に活動することができる。	今年度は管理者同士が他の事業所に行って交流を図ったり、管理者会議の中の障害者部門で、他の放デイや児発・相談支援・就労支援事業所との話し合いを月に1回は行っている。	来年度は、管理者だけでなく、他職員同士での事業所交流を行う予定があるので、実施して、交流の場をもっと増やしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外で自由に遊べる庭がなく、身体を思いっきり動かして遊ぶことができていない。 週に1回は公園や散歩に行く日を作っているが、天気の良い日は外に出る機会をもっと増やせるようにしていきたい。	庭は少しはあるが、事業所の車を止めていて、広々を使えなかったり、砂利のため転んだ時にけがの心配や落ちている石を投げたりする可能性があり危険である。 門があり、子供たちがいる時には門を閉めているが、門の前の道路が車どおりが多く危険である。	敷地の外に大きな土地がある為、そこを子供たちの遊び場として利用できないか、現在持ち主の方と話をしているところではあるが、許可が下りていないので、今後も交渉をしていく予定ではある。
2	家族同士や地域とのつながりがなく、横のつながりを持っていない。	以前家族会を含め、クリスマス会や夏祭りの参加の案内を出したが、参加人数が少なく、きちんとした家族会が行えず、それ以降、実施できていない。	家族の方にアンケートを実施し、どういう家族会や催し物なら、参加したいかなどのアンケートを書いてもらい、それに沿った内容で、行えるようにしていきたい。
3	他の放デイ事業所がどのような活動をしているのかが分からない。	他の事業所との関わりがあまりなく、見学に行く機会が持っていない。	他の放デイの管理者や児発管と関わりを持つことで、気軽に見学に行く機会を作っていけるようにする。また、鹿児島市内や霧島などの事業所等へのお見学も検討し、他の事業所がどのような活動をしているのか、またどのようなかわり方をしているのかを勉強していきたい。